

平成31年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

平成31年2月

江別市総務部財務室財政課

－募集結果－

【参考】意見の反映状況

意見提出者	9名
対象事業数	2事業
意見数	10件

A	3	新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	7	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C		今後の検討課題とするもの
D		実現が難しいもの等

※ このほか、対象事業以外の事柄について意見や提案がありましたので、参考とさせていただきます。

平成31年度当初予算(案)パブリックコメントの結果について

1. パブリックコメント募集期間 : 平成30年12月3日(月)～平成31年1月4日(金)
2. 配布部数(公共施設から持ち去られた数) : 56部 (H30 48部、H29 51部、H28 57部、H27 65部、H26 36部、H25 63部、H24 59部、H23 37部、H22 75部)
3. 意見提出人数 : 9名 (H30 4名、H29 2名、H28 1名、H27 5名、H26 2名、H25 5名、H24 4名、H23 1名、H22 7名)
4. 意見があった事業数および件数 : 2事業 10件 (H30 6事業 12件、H29 4事業 5件、H28 0事業 1件、H27 5事業 6件、H26 8事業 10件、H25 16事業 19件)

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	番号	事業名	所管課	意見数	H30予算	H31要求	H31予算 (案)	左の財源			
									国・道	市債	その他	一般財源
2 産業	3 観光による産業の振興	6706	観光振興計画推進事業	商工労働課		1,600.0	1,214.8	1,147.8	573.0		100.0	474.8
3 福祉・保健・医療	2 健康づくりの推進と地域医療の安定	6308	健康づくり推進事業	保健センター		484.5	547.8	545.3	23.3		249.9	272.1
4 安全・安心	1 安全な暮らしの確保	162	自治会防犯灯設置費補助金	市民生活課		1,182.2	1,157.1	1,149.5			1,000.0	149.5
6 子育て・教育	1 子育て環境の充実	5160	放課後児童クラブ運営費補助金	子育て支援課	8	10,741.8	11,466.9	11,466.9	7,452.8		500.0	3,514.1
	2 子どもの教育の充実	6813	医療的ケア児支援事業	教育支援課	2		82.4	81.1	1.0		40.0	40.1
7 生涯学習・文化	2 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	1580	セラミックアートセンター企画展開催事業	郷土資料館		410.7	1,038.2	998.2			734.4	263.8
	3 市民スポーツ活動の充実	6828	ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地受入事業	スポーツ課			2,819.1	2,816.0				2,816.0

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
	2-3	観光振興計画推進事業	商工労働課	(無し)	1,214.8万円	1,147.8万円		
	3-2	健康づくり推進事業	保健センター	(無し)	547.8万円	545.3万円		
	4-1	自治会防犯灯設置費補助金	市民生活課	(無し)	1,157.1万円	1,149.5万円		
1	6-1	放課後児童クラブ運営費補助金	子育て支援課	<p>江別市総合計画における子育て、子育ての充実を実現していくためにも、保育園・幼稚園、及び放課後児童クラブの充実是不可欠です。この度、待機児童の発生が見込まれる小学校区において新設等を行うものに必要な経費が補助されることになり、待機を出さず、また、必要とされる学年にも対応できる可能性の枠が広がることは利用する児童や保護者にとって安心です。</p> <p>今後さらに、待機など出さないために必要な地域に提供され、今後は新設のみならず既設における必要な環境整備、家賃補助等の支援についても検討も要望いたします。</p>	11,466.9万円	11,466.9万円	<p>放課後児童クラブの整備・充実や、既存のクラブの施設改修や運営費に対する補助の拡充などに関し、多くの皆さまから貴重なご意見を頂戴したところであり、それらのご意見を踏まえた市としての考え方は次のとおりです。</p>	B
				<p>野幌地区、及び大麻地区において、大規模な宅地開発が進められている地域が数か所あり、その地域の小学校では、同時期に児童が増えることは必至です。</p> <p>昨年度までの児童クラブ利用状況においても、保護者が利用を希望しても低学年の利用が優先されるため、高学年になると利用が難しいと聞きます。現在開設されている放課後児童クラブにおいても、利用する子どもの人数に対して「生活の場」としての十分な広さが確保されている所ばかりではないという声も聞きました。</p> <p>現在開設しているクラブの児童数増加に伴う施設改修への、費用補助も必要ではないかと考えますが、新規開設に伴う児童クラブの安全な運営を考えれば施設の改修は欠かせないものとお考えがえます。子どもたちが、安全に過ごせる生活の場として十分な施設を設置できるように費用の補助をして頂きたいと考えます。</p>			<p>市内の小学校の児童数については減少が続いておりましたが、平成29年の学校基本調査で増加に転じ、平成30年も増加となったところであります。また、転入による子育て世代の社会増により、乳幼児も堅調に増加しているほか、市内各地で宅地分譲が行われていることなどから、さらなる児童数の増加が見込まれるところであります。</p> <p>児童数の増加に加え、女性の就業率の高まりなどに伴い、保育ニーズは増加し続けており、今後しばらくは、放課後児童クラブのニーズは高まるものと考えております。</p> <p>第6次江別市総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の4つの柱の1つである「子育て応援のまち」の実現に向け、今後も安心して子どもを産み育てられるまちづくりを進めるため、引き続き、小学校区ごとのニーズ量を的確に把握し、待機児童を発生させないよう、学校施設の活用や放課後児童クラブの整備・運営に必要な補助のあり方等を検討するとともに、今後数年間を見据えた計画的な定員の拡大など、放課後児童クラブの充実に努めてまいります。</p>	B
				<p>放課後児童クラブ運営補助金の手厚いのは大変よいと感じました。あちこちの学童保育が満員だと耳にしていますし、2つ新設されることで、ほっとする親御さんも多いのではと思います。「女性活躍」などと言われても、安心して子どもを預けられなければ「活躍」することもできないので…。新設されることで既存の学童にも余裕ができればよいですね。</p> <p>「子育てしやすい街」につながる施策だと思います。ぜひこの案が通りますようお願い致します。</p>			A	
				<p>来春、大麻エリアで、2つの学童保育施設が立ち上がることを受け、開設に伴う補助金はもとより、長期的な公的補助金を前向きに検討してほしいと思います。現在、共働きの世帯が増える中で、学童保育に通えない子供たちが放課後の行き場を失いつつあるのが現状です。一人で遅くまで留守番している子、友達の家を転々としている子、この様な状況の中で親も安心して子供を預けられる施設があるというのは非常に心強い事です。</p> <p>学童保育施設の新設に伴い、初期段階での補助金はもちろん、安全安心、さらには子供たちの居心地のよさを長期的に確保するためにも、補助金について、ぜひ前向きに検討してほしいと願います。</p>			B	
				<p>運営費補助、施設改修費等の増加について賛同。今後も補助金の充実を希望します。地域で児童の放課後の場所を確保することは重要です。「小1の壁」と言われるように、小学校入学と同時に放課後の子どもの居場所に困る母親は多数います。そのことが仕事を継続、あるいは働きたいと思う女性を躊躇させています。</p> <p>私は中学生の子どもがいますが、仕事が深夜に及ぶこともあり、1歳で職場復帰した後から小学生になっても近隣に住む夫の母に自宅に来てもらい、放課後を過ごしてもらいました。夫の母が急用のときは近所に住む子どもの友達のお母さんに見てもらうこともありました。近くに子どもをまかせられる方がいるのは、とても心強かったです。</p> <p>平成31年度には大麻の商店街に地域のお母さん達が運営する児童クラブが開設すると聞きました。地元のネットワークを活かし、温かい児童クラブになると期待しています。</p> <p>そして近年、シャッター商店街といわれ、経営者の高齢化などで閉店が相次ぐ店舗の再利用は活性化にもつながるのではないのでしょうか。このことは長期的に行政、学校、自治会、近隣の大学などが連携、検証を行うことが必要だと思います。</p>			A	

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
1	6-1	放課後児童クラブ運営費補助金	子育て支援課	<p>急速な少子高齢化が危惧される現代において、高齢者への様々なケアや配慮は大きな課題の1つであると考えます。その中で、働く世代からの協力、支援は必要不可欠となります。片親世帯はもちろん、共働き世帯が増えている現代において、子供たちを預かってもらう施設が存在はもとより、その施設の安全性が確保されなければ親は就労につけません。そうすると、経済面はもちろん、地域活動を含め高齢者への各種サービス業の若手世代の人員不足も否めません。</p> <p>上記は、一側面ではありますが、この様な観点から考えても、保育園及び学童の存在は、今後の江別市の課題の1つになりうと思います。現在、大麻エリアでは、宅地増設が進んでおり、春から他市町村からの転入も期待されます。既存の施設の充実はもちろんの事、来春開設予定の2つの学童保育施設においては、安全の確保、設備の充実、人員確保、何より「子供たちが安心できる居場所作り」を追求し、長期的な取り組みが実現される事を願います。</p>	11,466.9万円	11,466.9万円	<p>放課後児童クラブの整備・充実や、既存のクラブの施設改修や運営費に対する補助の拡充などに関し、多くの皆さまから貴重なご意見を頂戴したところであり、それらのご意見を踏まえた市としての考え方は次のとおりです。</p> <p>市内の小学校の児童数については減少が続いておりましたが、平成29年の学校基本調査で増加に転じ、平成30年も増加となったところであります。また、転入による子育て世代の社会増により、乳幼児も堅調に増加しているほか、市内各地で宅地分譲が行われていることなどから、さらなる児童数の増加が見込まれるところであります。</p> <p>児童数の増加に加え、女性の就業率の高まりなどに伴い、保育ニーズは増加し続けており、今後しばらくは、放課後児童クラブのニーズは高まるものと考えております。</p> <p>第6次江別市総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の4つの柱の1つである「子育て応援のまち」の実現に向け、今後も安心して子どもを産み育てられるまちづくりを進めるため、引き続き、小学校区ごとのニーズ量の確に把握し、待機児童を発生させることのないよう、学校施設の活用や放課後児童クラブの整備・運営に必要な補助のあり方等を検討するとともに、今後数年間を見据えた計画的な定員の拡大など、放課後児童クラブの充実に努めてまいります。</p>	B
				<p>来春からの2つの学童保育施設の設置に伴い、公的補助金について前向きに検討したいと思っております。</p> <p>子どもの安心、安全を確保する為の設備の新設、また既存施設及び設備などの改修、人員確保に関わる費用等、民間だけでは到底厳しい金額になります。不安要素を抱えた状態の開設では、親はもちろん運営に携わる側の心配も尽きません。また新設に伴う一時的な公的補助金だけでなく、長い目で安全を確保できる様、長期的かつ継続的な補助金についても必要だと考えます。</p> <p>現在行われている大麻エリアでの宅地増設により他市町村からの世帯転入も期待できる中で「子育てに優しいまち」として、是非、前向きに検討してほしいと思っております。</p>			B	
				<p>働く母親が増え、頻繁に変質者が出現するなか、子供を安心して預けられる放課後児童クラブが今の現代には必要不可欠だと思います。</p>			A	
2	6-2	医療的ケア児支援事業	教育支援課	<p>医療的ケアを必要とする児童生徒、及び保護者にとって、2016年児童福祉法が改正され医療的ケア児の存在が初めて法律に明記され医療や福祉に加えて、教育の面でも支援が受けられるように努めなければならないことになったことは、誰もが教育を保障されるといった観点からも画期的であり、大変重要と考えます。この度、医療的ケア児を受け入れるにあたり看護師配置が実現し、受け入れ態勢のあり方について必要な支援体制を整備し、児童生徒と保護者が安心して教育が受けられることは障害者差別解消法の理念に照らしても大切です。しかしながら現状では、学校に通わせるため家族が重い負担を強いられ、支援が充実しているとは言えないケースも少なくありません。</p> <p>大阪府では、10年以上前から看護師資格のある介助員を小中学校へ配置する費用を補助したり、医療的ケア児の技術を学ぶ研修を開始し、ケアの担い手を掘り起こすなど、学校の環境を整えています。また、呼吸や経管栄養など複数の医療的ケアが必要な児童に、学校では親の付き添いはありません。障がいのある児童生徒は、他の子どもと一緒に授業を受けています。障がいのあるなしにかかわらず、子どもたちにとって当たり前の教育の姿だと思います。したがって、医療的ケア児の保護者付き添いは、真に必要な場合に限定し事業をすすめていくべきと考えますので、こうした体制づくりをすすめてください。</p>	82.4万円	81.1万円	<p>市では、平成30年10月に教育委員会に看護師を配属し、平成31年4月から医療的ケア児を受入れるための体制の整備を進めております。</p> <p>医療的ケアの実施に係る保護者の付添いにつきましては、医療的ケア児の自立を促す観点から、真に必要なと考えられる場合に限ることと考えております。ただし、医療的ケア児の体調などに注意や配慮が必要な場合に限り、保護者と相談しながら保護者の付添いの要否について判断してまいります。</p> <p>学校における医療的ケアの実施につきましては、医療的ケア児の体調を、保護者・学校・主治医等の関係者で共有し、連携を取りながら安全に実施してまいります。</p>	B
				<p>医療的ケア児支援事業が新設されたことも、よいと感じました。</p> <p>このことで本人が希望する学校に通学できるのであれば何よりです。新規事業とのことなので、1年間の実践を通じて、より手厚く継続していければ素晴らしいです。</p> <p>「子育てしやすい街」につながる施策だと思います。ぜひこの案が通りますようお願い致します。</p>			B	
	7-2	セラミックアートセンター企画展開催事業	郷土資料館	(無し)	1,038.2万円	998.2万円		
	7-3	ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地受入事業	スポーツ課	(無し)	2,819.1万円	2,816.0万円		
		その他自由記載		札幌のベッタウン江別市は、大都市圏にありながら、サラリーマンでも求められる価格でマンションや一戸建て住宅を購入でき、人口増が見込まれる自治体です。したがって、域外から住民票を移して移住してこられるご家族のために、住宅購入や育児などの面で市が全面的にバックアップしていくような、予算編成を組んでいくべきです。とりわけ若い世代の世帯に対しての支援は強く推し進めてゆくべきであると考えます。				